

令和 6 年度第 2 回草津市文化振興審議会 会議録

▼日時：

令和 7 年 3 月 21 日（金）15：30-17：30

▼場所：

草津市立図書館 2 階会議室

▼出席委員：

松本会長、澤委員、富田委員、涌井委員、垣東委員、村木委員

▼欠席委員：

大塩副会長、鎌谷委員、中村委員、成田委員

▼図書館：

二井館長

▼事務局：

岸本部長、安藤副部長、古川生涯学習課長、岡田生涯学習課長補佐、木内主査、近藤主事

▼傍聴者：

0 名

開会

【部長挨拶】

本日は、公私とも何かと御多用のところ、令和 6 年度「第 2 回草津市文化振興審議会」に御出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、日頃から本市文化行政に格別の御理解と御支援をいただいておりますことに、併せて感謝申し上げます。

人生 100 年時代に多様な幸せの追求が求められている昨今、市民の皆様方の地域に対する誇りや愛着心を育むことで、この町に住んで良かったと思っただけの魅力的なまちづくりを推進するためにも、文化芸術の役割が重要視されていると感じているところでございます。

そのような中、毎年実施しております「草津キッズシネマ塾」においては、こどもたちがプロの映画制作者の手ほどきを受けながら短編映画を作成しております。昨年度までは草津の文化という大きなテーマの中から、毎年草津ならではの題材を選んで制作しておりましたが、今年度からは草津市内でも特に、ある特定の地域に焦点を当て、地域の魅力を深く掘り下げることで、こどもたちにより地域に親しんでいただけるような事業として進めております。今年度は山田学区に焦点を当て、山田学区の伝統野菜・農産業について映画制作を通して楽しく学ぶ

ことで草津への愛着を深め、「ふるさと草津の心プロジェクト」の推進を図ることができました。完成した作品については、この後上映いたしますので、皆様にも御覧いただきたいと思います。

また、来年度予算として、文化芸術に親しむきっかけを作るため、初心者向けの連続講座を通して文化芸術の担い手育成を図る「文化芸術担い手育成事業」等の新規事業も展開するほか、「草津市読書のまち推進計画」に基づく読書によるまちづくり事業も開始いたします。文化振興計画においても、としょかんまつりやビブリオバトル等、図書館での実施事業が複数の基本施策に関連付けられておりますことから、今後も読書を含め様々な手段によって文化振興を図り、さらなる都市の魅力向上に取り組んでまいりたいと考えております。

本日は、新規事業を含めた来年度の実施予定事業の内容について御報告させていただきました後、図書館の二井館長より図書館での事業や取り組みについてお話をいただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1. キッズシネマ塾 令和6年度作品「野菜のまち山田」上映

【事務局】

キッズシネマ塾は毎年実施をしているが、特に今年度は山田学区という特定の地域に焦点を当て、草津市の豊かな自然環境を活かして栽培した農産物である「ベジクサ」をテーマとして、山田の地域に古くから伝わる「山田ねずみ大根」を中心にしながら、こども達が映画制作に臨み、地域の伝統文化についてより深く掘り下げた作品が完成した。

<上映>

2. 報告事項

▼令和7年度の重点プロジェクト

【会長】

それでは令和7年度の重点プロジェクトについて事務局より資料の説明をお願いします。

【事務局】

<資料に基づき説明>

【会長】

上映したキッズシネマ塾の映画の感想や資料への質疑、御意見があれば発表をお願いしたい。

【A 委員】

地域を巻き込んで連携しながら映画を制作するという過程がこどもたちにとっても良い経験になったのではないかと感じる。

【B 委員】

就学前のこどもが見ても理解しやすい内容で、こどもたち自身が実際に体験をしながら地域の人々と共に映画を作るという過程も興味深い映像なので、いろいろな場所で見られるようになるといいが、現在はどのように映像を活用しているのか。

【事務局】

今回に関しては、今までと異なり地域とのつながりが強い事業となったこともあり、地元のまちづくりセンターや山田小学校、農事関係者の集い等で使っていただけそうである。例年は宿場まつりで上映するなどしている。映像の活用については事業全体としての課題であるため、反対にこういった場で活用してはどうかというご意見があれば伺いたい。

【C 委員】

魅力の発信につなげる事業ということなので、山田学区に限らず、草津市内の小中学校で広く上映してはどうか。

また、資料③について、文化をツールとしたまちづくり事業では複数の分野の地域課題について取り組んでいくとのことだが、人権分野であれば人権センター、防犯防災分野であれば危機管理課などと連携する方法は考えているのか。

【事務局】

令和7年度に取り扱う予定の防犯防災分野は、令和6年度にもホール事業にて取り扱っており、その際には危機管理課と連携を行い実施したため、今回も連携をとっていきたいと考えている。福祉分野では、障害福祉課と過去連携してアミカホールで実施した事業もあり、そのような形で連携可能である。人権分野についても、具体的に詰められているわけではないが、実施に当たっては人権センターや人権政策課と連携を取りたいと考えている。

【D 委員】

キッズシネマに関しては、わかりやすく集中して見られる内容で、地域を巻き込むことで興味を引きながら文化によるまちづくりを実現しているのではないかと感じた。いろいろな場所で上映することで、参加者も増えるのではないか。

また、資料②について、創作活動県民の割合が45%であるとの記載があるが、これはどのような調査をもとにした数値なのか。

【事務局】

滋賀県でも文化振興に関する計画が作られており、この数値はその計画のフォローアップとし

て毎年行われている意識調査における数値である。資料には令和 6 年度の最新の調査結果を掲載している。意識調査の対象者としては、意識調査に協力する登録を行っている県民であり、300 人程度となっているが、本市における調査に関しては 3,000 人から無作為抽出した市民であるため、県と市とで回答者の抽出方法が統一されているわけではないが、参考となる数値として掲載させていただいた。

【E 委員】

映像や音声などの映画作成を自分たちで行う中で、普段なかなかできない職業体験の機会となり、将来のこどもたちの選択肢を広げるいい手段である。

【会長】

娯楽と文化行政は決してつながっていないわけではない。ふるさとを題材とした映画がより娯楽にもつながるよう活用されていくとよい。

3. 視察

▼草津市立図書館 事業説明・館内案内

【事務局】

文化振興計画においても、としょかんまつりやビブリオバトル等、図書館における事業が複数の基本施策に関連付けられているように、読書も文化振興のための有効な手段の一つであることから、本日は読書の面からのまちづくりや文化振興について考えていただくきっかけとして、市としての今後の読書計画や、図書館の読書事業について説明させていただく。

＜生涯学習課長より、令和 7 年度に開始予定の『草津市読書のまち推進計画』概要説明＞

＜図書館長より、草津市文化振興計画に記載されている図書館事業についての説明＞

【会長】

参考に、青森県八戸市は、日本で初めて市営で本屋を作った「本のまち」である。市民作家のみが使用できる執筆スペースを設け、作家を輩出し町の活性化につなげることを狙った公営の本屋がある。また、本屋を存続させるために小学生に 2,000 円分のクーポンを配布するという取り組みも行っている。

閉会
